

## 運営推進会議等開催報告書

30年 3月 26日

事業所名	グループホーム ガリラヤ久米		
担当者	飛鷹 美知子	電話番号	970-9101
1 開催日時	平成 30年 3月 26日 10:00 ~ 11:45		
2 開催場所	ガリラヤ久米 3F多目的ルーム/1F地域サロン室		
3 出席者			
(1)	9 人	グループホーム(家族) " 小規模特別養護老人ホーム(家族) 民生委員 民生委員 民生委員 松山市介護保険課 地域包括支援センター小野久米 居宅介護支援事業所ひろた	
(2) 職員	7 人	佐々木 信也 愛隣園 理事長 高橋 雅志 施設長 飛鷹 美知子 グループホーム 管理者 上田 稔 グループホーム 計画作成担当者 清水 佳代 小規模特別養護老人ホーム 生活相談員 露口 さえ子 小規模特別養護老人ホーム 生活相談員 形上 耕太 小規模特別養護老人ホーム ユニットサブリーダー 石田 紗野佳 管理栄養士	
4 活動状況報告	別紙のとおり		
5 活動状況に関する評価			
	入居者に対するケアをスタッフが一生懸命行っていると感じる。事故(特に誤薬)については十分注意して対応してもらいたい。		
6 主な要望、助言等			
①	母の脚が弱ってきたが、鈴やベル、足湯等で症状に対応して下さりとても助かっている。		
②	活動状況報告の屋外で過ごされている写真を見てよい印象を持った。		
③	活動報告にあった母の穏やかな表情の写真を見て安心した。		
④	誤薬時はDrに相談したりするのか? 誤薬には十分注意してもらいたい。		
⑤	事故報告の事故の数が多いように感じる。しかし注意してケアにあたってくれているということがわかるので安心はしている		
⑥	薬の取り扱いには十分注意してほしい。		
⑦	インフルエンザは落ち着いてきたが花粉症はひどい季節になった。入居されている方の状況はどうか。		
⑧	今まで発症はなくとも急に発症する場合もあるので注意してほしい。 活動状況報告のサロンの活動について: 地域と一緒に活動できており良いと思う。地域にもガリラヤ久米を知ってもらうことが出来るし、地域の方にとっても役割を持ってもらうことが出来る。		
⑨	研修・勉強会もよく実施できている。ヒヤリハットでこの先の事故が防げると考えるので頑張ってもらいたい。 質問: 活動状況報告(特養分)の事故数に間違いはないか? ⇒間違いあり。正しくは35件		
⑩	年間を通して行事等出来ていると思う。研修も行えており、入居者の対応についても気を付けることが出来ていると感じる。 個々の適切な水分摂取など今後も気を付けてケアにあたってほしい。		
	食事の試食をし、食形態に対する工夫や、味付けへの配慮など、実際に食べてよく分かった。 入居されている方にとつての食事の楽しさを考えている熱意を感じる。引き続き頑張ってもらいたい。		
7 要望、助言に対する考え方			
	・感染症対策(インフルエンザ)については、施設での予防に対する取り組みと罹患してからの対応について説明ご理解とご協力を引き続きお願いした。 ・今後も利用者が楽しんでいただけるような活動の提供を継続。 ・ヒヤリハットが多いことについては自己を未然に防ぐため軽微なこと、備品の破損などについても記載するよう指示していることを理解いただきたい。 ・誤薬については同じ事故がないよう十分注意をしていく。		
8 その他特記事項			
	介護報酬改定に伴う変更点について(説明者:施設長)		
	各事業所の現状報告:各事業所の稼働率について、GHでの着取り実施について 施設内での感染症(インフルエンザ)への取り組みについて(説明者:施設長)		
	ケアに対する考え方(トータルケア)取り組みについて(説明者:施設長)		
	身体拘束を行わないケアの実施についてのご理解とご協力について(理事長)		
	ご利用者提供食の試食会(普通食・やわらか食・ソフト食)(説明者:管理栄養士)		

## 運営推進会議等開催報告書

30年 3月 26日

事業所名	小規模特別養護老人ホーム ガリラヤ久米		
担当者	清水 佳代	電話番号	970-9101
1 開催日時	平成 30年 3月 26日 10:00 ~ 11:45		
2 開催場所	ガリラヤ久米 3F多目的ルーム/1F地域サロン室		
3 出席者			
(1)	9 人	グループホーム(家族) " 小規模特別養護老人ホーム(家族) 民生委員 民生委員 民生委員 松山市介護保険課 地域包括支援センター小野久米 居宅介護支援事業所ひろた	
(2) 職員	7 人	佐々木 信也 愛隣園 理事長 高橋 雅志 施設長 飛鷹 美知子 グループホーム 管理者 上田 稔 グループホーム 計画作成担当者 清水 佳代 小規模特別養護老人ホーム 生活相談員 露口 さえ子 小規模特別養護老人ホーム 生活相談員 形上 耕太 小規模特別養護老人ホーム ユニットサブリーダー 石田 紗野佳 管理栄養士	
4 活動状況報告	別紙のとおり		
5 活動状況に関する評価			
	入居者に対するケアをスタッフが一生懸命行っていると感じる。事故(特に誤薬)については十分注意して対応してもらいたい。		
6 主な要望、助言等			
①	母の脚が弱ってきたが、鈴やベル、足湯等で症状に対応して下さりとても助かっている。		
②	活動状況報告の屋外で過ごされている写真を見てよい印象を持った。		
③	活動報告にあった母の穏やかな表情の写真を見て安心した。		
④	誤薬時はDrに相談したりするのか? 誤薬には十分注意してもらいたい。		
⑤	事故報告の事故の数が多いように感じる。しかし注意してケアにあたってくれているということがわかるので安心はしている		
⑥	薬の取り扱いには十分注意してほしい。		
⑦	インフルエンザは落ち着いてきたが花粉症はひどい季節になった。入居されている方の状況はどうか。		
⑧	今まで発症はなくても急に発症する場合もあるので注意してほしい。 活動状況報告のサロンの活動について: 地域と一緒に活動できており良いと思う。地域にもガリラヤ久米を知ってもらうことが出来るし、地域の方にとっても役割を持ってもらうことが出来る。		
⑨	研修・勉強会もよく実施できている。ヒヤリハットでこの先の事故が防げると考えるので頑張ってもらいたい。 質問: 活動状況報告(特養分)の事故数に間違いはないか? ⇒間違いあり。正しくは35件		
⑩	年間を通して行事等出来ていると思う。研修も行えており、入居者の対応についても気を付けることが出来ていると感じる。 個々の適切な水分摂取など今後も気を付けてケアにあたってほしい。		
	食事の試食をし、食形態に対する工夫や、味付けへの配慮など、実際に食べてよく分かった。 入居されている方にとつての食事の楽しさを考えている熱意を感じる。引き続き頑張ってもらいたい。		
7 要望、助言に対する考え方			
	・感染症対策(インフルエンザ)については、施設での予防に対する取り組みと罹患してからの対応について説明ご理解とご協力を引き続きお願いした。 ・今後も利用者が楽しんでいただけるような活動の提供を継続。 ・ヒヤリハットが多いことについては自己を未然に防ぐため軽微なこと、備品の破損などについても記載するよう指示していることを理解いただきたい。 ・誤薬については同じ事故がないよう十分注意をしていく。		
8 その他特記事項			
	介護報酬改定に伴う変更点について(説明者:施設長)		
	各事業所の現状報告:各事業所の稼働率について、GHでの着取り実施について 施設内での感染症(インフルエンザ)への取り組みについて(説明者:施設長)		
	ケアに対する考え方(トータルケア)取り組みについて(説明者:施設長)		
	身体拘束を行わないケアの実施についてのご理解とご協力について(理事長)		
	ご利用者提供食の試食会(普通食・やわらか食・ソフト食)(説明者:管理栄養士)		